

セミナー講師の気付き 「トイレ掃除すると成功する理由」

サイコサイバネティックス公認インストラクター 田渕 裕哉

セルフイメージを高める方法は色々とあるが、「良いことをする」も一つの方法である。

皆さんは、仕事で、お客様がもっと喜んでくれるなら、自分自身、改善できるのであれば、もっと改善したいと思わないだろうか？思うはずである。ならば、同じ質問を家族にできないだろうか？妻にする質問は、「もっと私が良い夫になるために、改善できるのであれば教えて欲しい」という質問である。または、「もっと私が良い父親になるために、改善できるのであれば教えて欲しい」という質問を子供にするのである。但し、条件がある。どんなことを言われても「ありがとうございます」と感謝することである。それができないならば、止めたほうがいい。この質問をして、改善できるようにすると、必ず、セルフイメージが高まる。なぜなら、そんな質問をする人は、まずいないからである。でも、よく考えて欲しい。家族とお客様とどちらが大切だろうか？お客様にできるなら、家族にできないはずがない。しかも間違いなく、セルフイメージが高まり、成功の人生を創ることができる。

公立の佐賀北高校が、甲子園で大活躍をした。この監督は生徒に、靴を揃えさせたり、相手の選手をほめるようにさせたということである。これもセルフイメージを高める方法である。監督曰く、「技術の差は、ほとんど同じ。であるなら、最後に何で差がつくのか？それは、人間として、正しいことをしているという自信である。」と言っている。これはセルフイメージのことではないだろうか？非常に面白い。

さて、それでは、「トイレ掃除をすると成功する」とは？どのようなメカニズムか？それは、誰もやっていないトイレ掃除をすることで、セルフイメージがアップするのである。

サイコサイバネティックスは、人間開発の科学であると言われている。すなわち、より良い人間になるための確かな情報なのである。最後に、私の名刺にも入れてあるモルツ博士の言葉を紹介しよう。

「プロの仕事人になる前に、プロの人間になれ！プロの人間になれば、より早くプロの仕事人になることができる。」